

ご近所の お医者さん

□
637
□

いづみがおかメンタル
クリニック院長

手島愛雄さん

＝和泉市

心の健康は向上心から

医師になって48年たちましたが、将棋を覚えてからなら67年です。ずっと将棋に支えられてきました。人との出会いだけでなく、芸術や学問にも出会わせてくれました。単なる趣味として語ることができません。

健康な心とは、調和がとれている心という意味ならば、将棋は間違いなく心の健康に役立ちます。落ち着きをもたらします。

生まれつき体が弱くて病氣続きだった私は、子どもの頃、勝てませんでした。



すべてへ通じる将棋

だが、父や叔父たちと将棋を指すことが楽しみでした。小学5年生のころ、「将棋必勝法」という本で勉強したら、勝てるようになりました。勉強は自分から進んでやらなければいけないと思いました。

同じころ、新聞で王将戦などの観戦

記を読むようになりました。「長考。雀が庭に来てチュンチュンと鳴いた」という短い文から、障子を開けた対局室の静寂、読みに没頭する対局者の強い精神力などが伝わってきて感動しました。作文に興味を持ってました。

中学時代には詰将棋という一種のパズルを考えました。長時間考えてやっとなり心調和を自覚しました。体も丈夫になりました。

将棋では局面を見つめることがすなわち考えることです。そしてそれは必然的に表現(着手)に結びつきます。これは学問や芸術の基本的な構造を純粋に示しています。こんなことが分かり学業への熱意が増しました。

大阪府医師会将棋部に入ってから多くの先生方と親しくなれ、また大会等を通じてさまざまな職業の方とも知り合えて視野が広がりました。

将棋は求道者の意識を持たせてくれます。

勝つのも修行、負けるのも修行です。つらい体験でも修行のうちだと思えば受け入れられます。結果へのこだわりが弱まります。

将棋はすべての道に通じています。いろいろな分野のことが分かるようになります。人生が楽しくなります。考えることは尊いことです。私の個人的体験を書きましたが、皆さまのご参考になれば幸いです。